

## 1年3組 学級活動実践報告

## 議題

もっとなかよくなるうかいをしよう

## 提案理由

1ねん3くみは、にゆうがくしたときよりもなかよしになりました。でも、まだしらないところがあるともだちや、もっとなかよくなりたいたいともだちもいます。だから、みんなでもだちのしらないところをしったり、なかよくなれるあそびをしたりすると、3くみももっとなかよしでたのしいクラスになれるとおもって、ていあんしました。

## 話し合うこと①

なにをするか

ばくだんゲームは、自分のことを言いながらゲームをするので、みんなをよく知れると思う。



うそあてゲームはみんなのことを知れてもっとなかよくなれそうです。

なかなか考えがまとまらないなあ。先生！相談タイムがほしいです。

## 【決まったこと】

うそあてゲーム、ばくだんゲーム

## 話し合うこと②

もっとなかよくなれるくふう

ハグやハイタッチは今よりもっと仲よくなれそうです。

ノートを見たら考えを思い出せたよ。



みんなと話し合いをして、心があたたかくなったよ。



【決まったこと】あくしゅ、ハイタッチ、ハグ、あいさつ

## 話し合うこと③

やくわりぶんたん

こういう役割があるっていうことを初めて知ったよ。どれにしよう。



## 【決まったこと】

司会、はじめの言葉、終わりの言葉、ルール説明、プログラム、かざり

## 指導・講評

- 元文部科学省視学官 宮川 八岐 先生・さいたま市教育委員会指導1課 主任指導主事 船田 敦史 先生
- ・学級会グッズがよく整備されている。グッズの環境が整っていると、すべての学年で指導の積み重ねができる。
  - ・プログラムが提示してあり、今日は何を話し合うのかが明確になってよかった。
  - ・最初は提案理由を意識できたが、1年生は後半に提案理由から離れてしまうこともあるので、意識させる声掛けを。
  - ・1年生は決まったこと等を全員で読むとよい。発言できない子もしっかり活躍できる。
  - ・話し合うこと②は、「くふう」ではなく「もっとなかよくなるやくそく」にするとよい。
  - ・意見について、皆でイメージを共有することが大切。いつ、どこで、どうやって、何を…を皆で確認する。
  - ・「仲よくなるうかい」「頑張ろう会」は、学期初めのほうがよい。豊富な議題を教師がストックしておく必要がある。

## 成果と課題

○成果 ●課題

- 初めて「比べ合う」から話し合ったが、児童は混乱することなく話し合いに参加できていた。事前の共有が大切である。
- 板書や掲示物が明確で、事前の担任のノートチェックもしっかりしており、児童が自信をもって参加できた。
- 「話し合うこと②」からは、出た意見のイメージの共有が大切。実際に動きを取り入れて、可視化する。
- 1年生なので、担任が司会を兼ねたが、「子どもたちの手本として司会進行する役」と「担任として指導する役」の線引きが難しい。決定を左右しない指導の言葉をしっかりと選んでいく必要がある。